

災害対策推進・教育センター

VOL.25 2024 年 10 月号

かわら版



Topics

院内防災訓練を行いました

9月28日(土)、金沢大学教授岡島正樹先生による「令和6年能登半島地震時の対応」についての講演会並びに布引山地東縁断層帯地震を想定した多数傷病者受け入れ訓練を行いました。当院教職員、学生、外部施設参加者(県内4・県外2)、来賓等含めて約380名の方に集まっていただきました。今回は、それぞれの様子を紹介していきます。

本部設立訓練

震度6弱の地震

災害レベル3

多数傷病者受け入れ体制

災害レベル・活動方針の決定
(池田病院長)

本部記録担当(クロノロジー)

岡島先生講義



被災地からの病院避難、医療逼迫時の対応、受援などについてお話しいただきました



EMIS、発災時・定時報告書、ANPICによる情報収集

〇時△分
災害対策本部を設立...



放送用設備を用いて全館放送(外来棟4階)

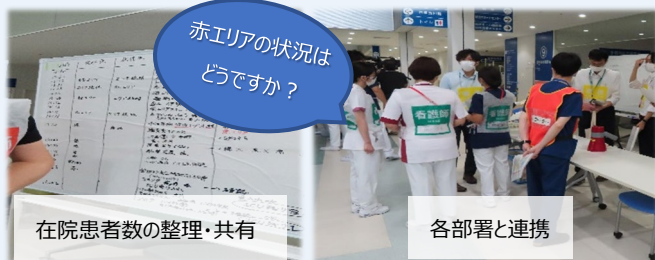
エリア訓練

エリア管理統括

総合サポートセンター前に展開しました

ID付与・トリアージエリア

正面玄関入り口に展開しました



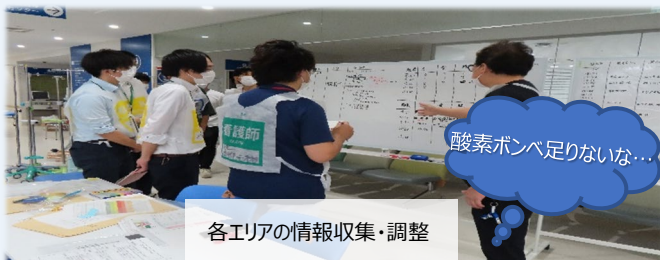
在院患者数の整理・共有

各部署と連携

赤エリアの状況は
どうですか？



ID付与センター
リストバンドとトリアージタグを一緒につけます



各エリアの情報収集・調整

酸素ボンベ足りないな...



救急車からの搬入



トリアージ

各診療部

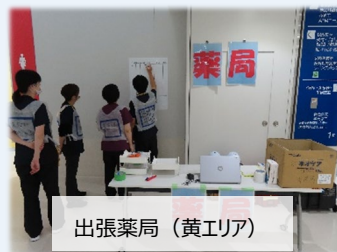
放射線部、検査部、輸血部、出張薬局、SPD、材料部を展開しました

出張薬局は、黄エリアと緑エリアに展開しました

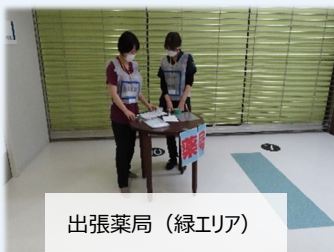
災害時IDを使用し、
電子カルテでオーダー



放射線部



出張薬局(黄エリア)



出張薬局(緑エリア)



検査部

緑エリア

総合受付周辺に展開しました



黄エリア

リハビリ室に展開しました



外国人ボランティアの参加



近隣自治会の方々の参加



赤エリア

外科外来処置室に展開しました（本来は救急外来）



黒エリア

霊安室に展開しました



Face

ポルトガル語 医療通訳士
ワキモト隆子 です



実際に災害が起きた時、私達医療通訳士として何が出来るのか？遠隔通訳機（MELON）を災害時に有効的に使う方法、やさしい日本語を使う事、今回の防災訓練で、皆さんと共有したいと思います。

MELON

（医療機関向けコミュニケーション支援サービス）

MELON は外国人患者対応のための通訳機器であり、今回の訓練にも使用しました。医療用語にも対応したチャット形式の「機械通訳機能」と通訳者と通話できる「医療通訳機能」が搭載されており、外国人患者との会話をサポートします。

当院では、総合サポートセンターにて貸し出しを行っており、現在は予約制にて3台を運用しています。



Center Message

院内防災訓練では多くの職員の皆様にご協力いただき、ありがとうございました。今年も昨年と同様に地震直後の各エリアと本部の設立から受け入れまでの訓練を行い、新たな取り組みとして、外国人对応についての訓練も行いました。災害時には、平常時よりもさらにさまざまな部署との連携が必要になってくるため、他部署の役割についても知っておくことが重要です。（センター看護師：な）

